

4. What do you want to be in the future ?

自分の夢について話してみよう

目標:自分の夢に対し今行っていることに関して英語で多くの人と話せるようになる (2分間为目标)。ペアの人に対する質問 (Follow up-Question)、またペアの人からの質疑応答ができるようになる。対象: 中学 1年生 時間: 20分
準備物: ワークシート、評価表 1・2 (Speaking Test, Fun Essay)

このタスクの進め方

○Pre-Task

1 教師は生徒に二人一組の Speaking test を行うことおよび Fun Essay (Imaginary Dialog) の連絡をする。Speaking test については、当日まで誰と当たるかは、わからないことを伝える。また、Speaking test と Fun essay の評価基準を伝える。(2分)

2 Step 1 として、教師は二人の会話を Model Dialog として読み、生徒は分かったことを表にまとめる。(3分)

A: Hello Yuto. How are you?
B: Hello Naoki. I'm great. How about you?
A: I'm great too. By the way, what do you want to be in the future?
B: I want to be an English teacher.
A: Sounds great!
B: But, there are many things to be an English teacher.
A: For example?
B: I study English and read books to be an English teacher.
A: Wow! That's too hard! So, what kind of teacher do you want to be in the future?
B: I want to be a kind teacher.
A: Sounds great! Nice talking with you!
B: Nice talking with you, too!

3 Step 2 として、Mind map を用いて自分の夢についてまとめさせる。(3分)

4 Step 3 として、Mind Map を活用し、質問事項にある自分の夢とそれに対して今行っていることを書かせる。夢が決まっていないこのためにもワードリストを用意しておく。

5 Step 4 として、ペアの紹介文を聞いたうえで質問文を 1 つ作らせる。(3分)

6 Step 5 として Model Dialog を用いて Speaking Test の練習をさせる。

○Task

- 1、 Step 5 として、Model Dialog を導入する。(6分)
- 2、 ペアを変えて 6 回練習させる。1 回ごとにペアで会話が終わったら、内容について表に記入させる。3 回目からは、Model Dialog を見ないで会話をさせる。
- 3、 Fun Essay を実施し、自己紹介文を作らせる。

ワンポイント・アドバイス

- ・ 何回か練習をした後、ワークシートを見ずに会話ができるように指示をする。
- ・ Speaking test を待っている間は、自分の夢とそれに対して今行っていることの Fun Essay (Imaginary Dialog) をサンプル (Step 1 で用いた Model Dialog) を参考とさせて書かせる。
- ・ Step 4 で Follow-Up Questions を作らせる際、5W1H の活用や、ワードリストを活用させたりすることを促す。

(仲谷優斗)